nittoku

ポリマーセメント系塗膜防水材

プルーフロンアクア

カタログ

【改訂第5版】

日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)適合品

特定化学物質(特化物)非含有

環境配慮型
鉛・クロムフリー、RoHS対応、
13VOCフリー、低VOC、
低臭タイプ

一般社団法人日本塗料工業会登録
ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
室内使用 無制限
http://www.toryo.or.jp

登録品種

- プルーフロンアクア
- プルーフロンアクア プライマー
- プルーフロンアクア トップコート各色

プルーフロンアクアはエチレン・酢酸ビニルエマルション樹脂(EVA樹脂)とセメント系特殊骨材を混合塗布して得られるポリマーセメント系塗膜防水材です。水系で環境に優しく、シームレスな防水層をつくることができます。

特長

1 柔軟で強靭な塗膜を形成。

プルーフロンアクアは柔軟性があり、建物(下地)に発生する伸縮・クラックに追従します。また、塗膜が強靭で引張強度が高いため、長期にわたって防水層を維持することが可能です。「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」の品質試験の性能を満足する優れた防水材です。

2 水性の防水材だから安心、安全。

人や環境に優しく、火災の心配もない安心、安全な水性の防水材です。特定化学物質や有機溶剤を含まず、厚生労働省指針13物質、文部科学省6物質、国土交通省品確法5物質を含まず、日本塗料工業会より建築基準法シックハウス物質におけるホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆の認定を受けています。

3 優れた作業性。

水性なので取り扱いが簡単。施工も容易で、作業性に優れたポリマーセメント系塗膜防水材です。Aタイプ、Bタイプと使用材料が同じで、配合を変えるだけで使用でき、ローラー作業やコテ作業性に優れた簡単な防水材です。

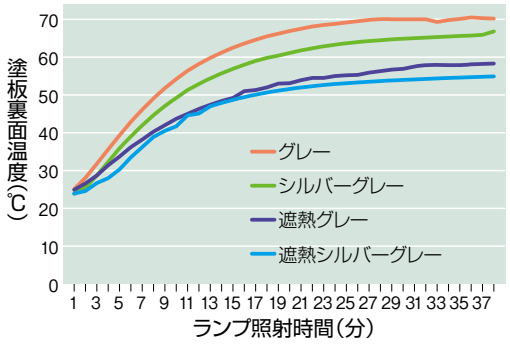
4 高い耐久性を発揮。

プルーフロンアクアはさまざまな環境下を想定した試験を行なっており、熱やアルカリといった劣化要因に対して高い耐久性を有します。

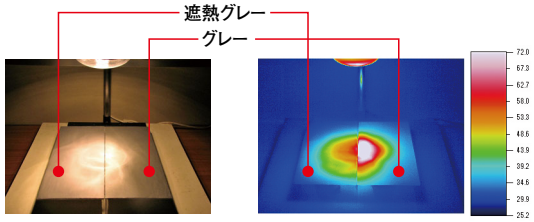
5 遮熱仕様もラインアップ。

仕上げ塗料は通常タイプのほかに、遮熱タイプもラインアップ。省エネやヒートアイランド現象の抑制にも貢献します。

■ランプ照射試験

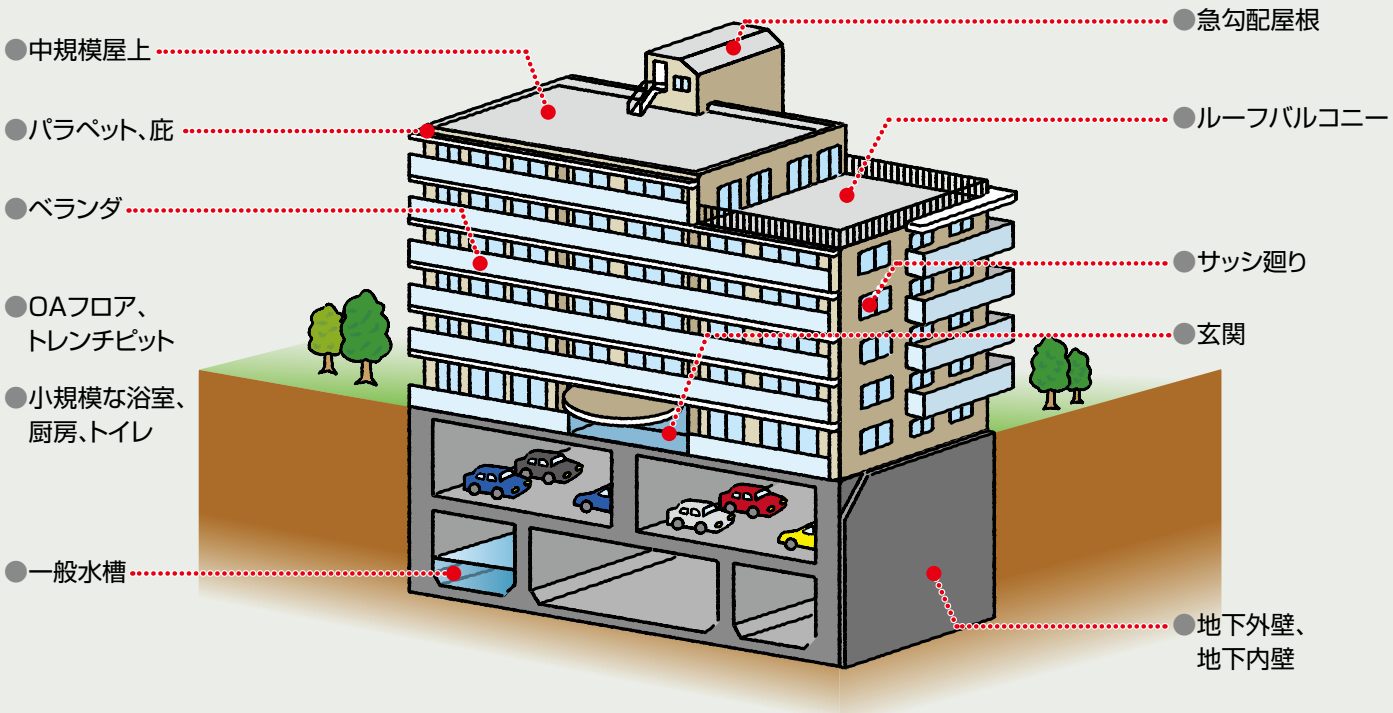


■遮熱データ
- 赤外線カメラ:日本アビオニクス㈱製 Handy Thermo TVS-200
- 基材:スレート板
- 300Wレフランプ:距離25cm



●**ご注意**:遮熱(温度低減)効果は色相により異なります。塗装する色相と既存塗膜の色相の兼ね合いにより、遮熱(温度低減)効果が充分に発揮されないケース(塗装する色相が既存塗膜より濃色の場合など)もございますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所にご確認ください。

用途



「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」をもとにした仕様分類

指針(案)タイプ ＼ 工程		❶	❷	❸	❹
Aタイプ	**PA-1仕様** 使用量：1.8kg/㎡・平均厚み：0.8㎜	プライマー	防水材：0.9kg/㎡	防水材：0.9kg/㎡	——
	PA-2仕様 使用量：2.4kg/㎡・平均厚み：1.1㎜	プライマー	防水材：1.2kg/㎡ 防水用補強布張り	防水材：1.2kg/㎡	——
	PA-3仕様 使用量：3.5kg/㎡・平均厚み：1.6㎜	プライマー	防水材：1.2kg/㎡ 防水用補強布張り	防水材：1.2kg/㎡	防水材：1.1kg/㎡
Bタイプ	**PB-1仕様** 使用量：2.6kg/㎡・平均厚み：1.1㎜	プライマー	防水材：1.3kg/㎡	防水材：1.3kg/㎡	——

防水層の保護仕上げ

イ	ロ	ハ	ニ	ホ
非歩行用 仕上げ塗料	軽歩行用 仕上げ塗料	セメント モルタル	薄塗り型 ポリマーセメントモルタル	保護緩衝材

※イ、ロ、ハ、ニの保護仕上げは平場と立上りは同一仕様を標準とします。

防水材の製品情報

指針(案)タイプ※	混和液/パウダー 配合比	硬化塗膜比重	全固形分
Aタイプ	3/2(重量比)	1.60	73.6%
Bタイプ	3/4(重量比)	1.90	81.1%

※「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」による区分、製品表示

材料種別と仕様種別

※日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」より抜粋

材料種別

Aタイプ
比較的動きの大きい地上部位
塗膜の伸び性能を重視した樹脂量の多い配合

Bタイプ
比較的動きの少ない地下・水槽部位
硬化性・強度を重視したセメント量の多い配合

仕様種別

- **PA-1仕様：塗膜単独層**
  平均厚み：0.8㎜
- **PA-2仕様：補強布複合層**
  平均厚み：1.1㎜
- **PA-3仕様：補強布複合層**
  平均厚み：1.6㎜
- **PB-1仕様：塗膜単独層**
  平均厚み：1.1㎜

■工法名記号の見方

(例) **AQ-3 W F 遮熱工法**
❶ ❷ ❸ ❹

❶「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」による分類
●**1**=PA-1仕様 ●**2**=PA-2仕様 ●**3**=PA-3仕様 ●**B**=PB-1仕様

❷トップコート 塗り回数
●**記載なし**=1回塗り
●**W**=2回塗り
●**H**=保護モルタル

❸トップコート 種類
●**N**=骨材入り(ノンスリップ)
●**F**=フラット

❹トップコート 遮熱種類
●**記載なし**=一般
●**遮熱**=遮熱トップ

※フラットタイプのトップコートは2回塗りが標準です。

指針(案)仕様と適合部位一覧

※印：歩行頻度が多い場所の場合、トップコートは2回塗りしてください。

部位 ＼ 仕様	指針(案)仕様		ブルーフロンアクア仕様	
	適用	可であるが一般的でない	推奨仕様	適応可能仕様
サッシ廻り	PA-1(イ)	PA-2(イ)(ハ)	AQ-1WF(遮熱)	AQ-2WF(遮熱)
庇	PA-1(イ)	PA-2(イ)	AQ-1WF(遮熱)	AQ-2WF(遮熱)
パラペット	PA-1(イ)	PA-1(ロ)、PA-2(イ)	AQ-1WF(遮熱)	AQ-1WN(遮熱)、AQ-2WF(遮熱)
ベランダ(下階居室無)	PA-1(ロ)	PA-2(ロ)	AQ-1WN(遮熱)、AQ-1N※	AQ-2WN(遮熱)
ベランダ(下階居室有)	PA-2(ロ)	PA-3(ロ)	AQ-2WN(遮熱)、AQ-2N	AQ-3WN(遮熱)
OAフロア	PA-1(無)	PA-1(イ)、PA-2(ロ)	AQ-1	AQ-1WF、AQ-2WN
トレンチピット	PA-1(無)	PA-1(イ)、PA-2(ロ)	AQ-1	AQ-1WF、AQ-2WN
小規模な浴室	PA-3(ハ)	—	AQ-3	—
厨房	PA-3(ハ)	—	AQ-3	—
トイレ	PA-3(ハ)	—	AQ-3	—
急勾配屋根	PA-1(イ)	PA-2(イ)、PA-3(イ)	AQ-1WF(遮熱)	AQ-2WF(遮熱)、AQ-3WF(遮熱)
急勾配屋根(中規模)	PA-2(イ)	PA-3(イ)	AQ-2WF(遮熱)	AQ-3WF(遮熱)
ルーフバルコニー	PA-1(ロ)	—	AQ-1WN(遮熱)、AQ-1N※	AQ-2N※、AQ-2WN(遮熱)
ルーフバルコニー(中規模)	PA-2(ロ)	—	AQ-2WN(遮熱)、AQ-2N※	AQ-3N※、AQ-3WF(遮熱)
中規模屋上(非歩行)	PA-3(イ)	—	AQ-3WF(遮熱)	—
中規模屋上(軽歩行)	PA-3(ロ)	—	AQ-3WN(遮熱)	—
地下内壁	PB-1(無)	PB-1(ハ)(ニ)	AQ-B	—
地下外壁	PB-1(ホ)	—	AQ-B	—
一般水槽	—	PB-1(無)	—	AQ-B

(イ)：ブルーフロンアクア トップコートフラット、ブルーフロンアクア トップコート遮熱フラット
(ロ)：ブルーフロンアクア トップコート骨材入り、ブルーフロンアクア トップコート遮熱骨材入り
(ハ)：セメントモルタル
(ニ)：薄塗り型ポリマーセメントモルタル
(ホ)：保護緩衝材
(無)：無し

標準工法

【Aタイプ】

■プライマー

右の表に従って下記のいずれかよりお選びください。

◉プルーフロンアクア希釈プライマー(使用量：0.2～0.3kg/㎡)

プルーフロンアクア混和液 ……12kg
プルーフロンアクアパウダー ……8kg
水 ……2～4kg

◉プルーフロンアクアプライマー(使用量：0.2kg/㎡)

プルーフロンアクアプライマー……15kg

■防水材(Aタイプ)

◉プルーフロンアクア(使用量は各工法仕様をご参照ください)

プルーフロンアクア混和液 ……12kg
プルーフロンアクアパウダー ……8kg
水 ……0.4～1kg

■下地とプライマーの適合性

○＝適用　△＝含水率5%以下の場合に適応　×＝不適

下地の種類	プルーフロンアクア プライマー	プルーフロンアクア 希釈プライマー
モルタル・コンクリート	△	○
セメントフィラー施工後	○	○
スレート	○	○
加硫ゴムシート防水	×	○
ウレタン塗膜防水 ※注	○	○
アスファルト系防水	×	○
既存塗装面	○	○

●既存防水材トップコートがシルバー仕上げの場合、いずれの工法も施工できません。
※注：ウレタン塗膜防水が下地の場合、トップコートがかかっていることが条件となります。

PA-1仕様

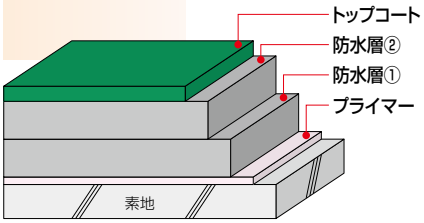
工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺
AQ-1N工法	プライマー 0.2～0.3kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.9kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.9kg/㎡	プルーフロンアクア トップコート骨材入り 0.4kg/㎡	
AQ-1WN工法	プライマー 0.2～0.3kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.9kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.9kg/㎡	プルーフロンアクア トップコート骨材入り 0.3kg/㎡	プルーフロンアクア トップコート骨材入り 0.4kg/㎡
AQ-1WF工法	プライマー 0.2～0.3kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.9kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.9kg/㎡	プルーフロンアクア トップコートフラット 0.15kg/㎡	プルーフロンアクア トップコートフラット 0.15kg/㎡

※トップコートはそれぞれ遮熱タイプを選択いただきますと「遮熱工法」となります。

●AQ-1N工法(防滑仕上げ)

(ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-1仕様 適合)

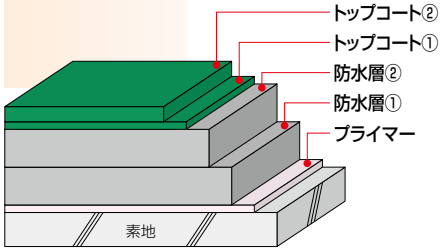
4工程(防水層平均厚み：0.8㎜)



●AQ-1WN工法(防滑仕上げ)

(ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-1仕様 適合)

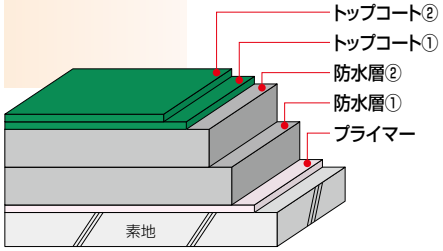
5工程(防水層平均厚み：0.8㎜)



●AQ-1WF工法(平滑仕上げ)

(ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-1仕様 適合)

5工程(防水層平均厚み：0.8㎜)



PA-2仕様

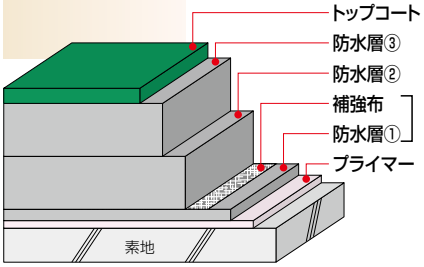
工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
AQ-2N工法	プライマー 0.2～0.3kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.3kg/㎡	補強布	防水材(Aタイプ) 1.0kg/㎡	防水材(Aタイプ) 1.1kg/㎡	プルーフロンアクア トップコート骨材入り 0.4kg/㎡	
AQ-2WN工法	プライマー 0.2～0.3kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.3kg/㎡	補強布	防水材(Aタイプ) 1.0kg/㎡	防水材(Aタイプ) 1.1kg/㎡	プルーフロンアクア トップコート骨材入り 0.3kg/㎡	プルーフロンアクア トップコート骨材入り 0.4kg/㎡
AQ-2WF工法	プライマー 0.2～0.3kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.3kg/㎡	補強布	防水材(Aタイプ) 1.0kg/㎡	防水材(Aタイプ) 1.1kg/㎡	プルーフロンアクア トップコートフラット 0.15kg/㎡	プルーフロンアクア トップコートフラット 0.15kg/㎡

※トップコートはそれぞれ遮熱タイプを選択いただきますと「遮熱工法」となります。

●AQ-2N工法(防滑仕上げ)

(ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-2仕様 適合)

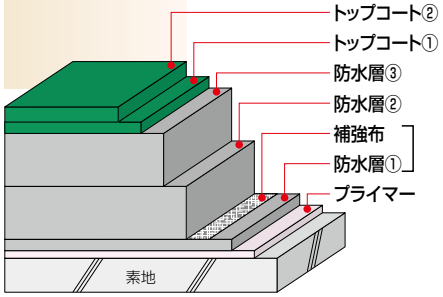
5工程(防水層平均厚み：1.1㎜)



●AQ-2WN工法(防滑仕上げ)

(ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-2仕様 適合)

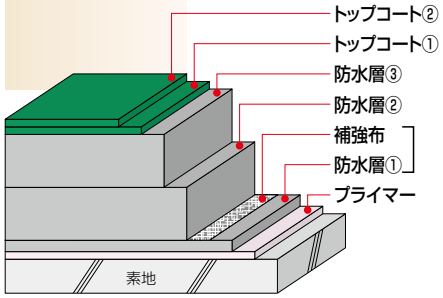
6工程(防水層平均厚み：1.1㎜)



●AQ-2WF工法(平滑仕上げ)

(ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-2仕様 適合)

6工程(防水層平均厚み：1.1㎜)



PA-3仕様

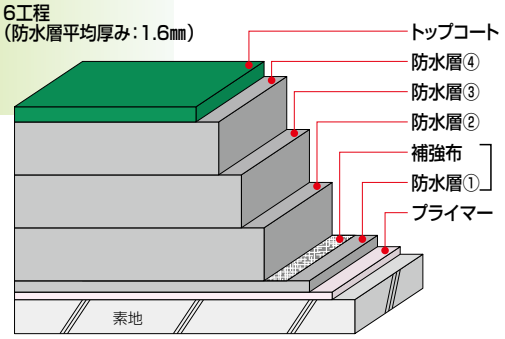
工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽
AQ-3N工法	プライマー 0.2～0.3kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.3kg/㎡	補強布	防水材(Aタイプ) 1.0kg/㎡	防水材(Aタイプ) 1.1kg/㎡	防水材(Aタイプ) 1.1kg/㎡	ブルーフロンアクア トップコート骨材入り 0.4kg/㎡	
AQ-3WN工法	プライマー 0.2～0.3kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.3kg/㎡	補強布	防水材(Aタイプ) 1.0kg/㎡	防水材(Aタイプ) 1.1kg/㎡	防水材(Aタイプ) 1.1kg/㎡	ブルーフロンアクア トップコート骨材入り 0.3kg/㎡	ブルーフロンアクア トップコート骨材入り 0.4kg/㎡
AQ-3WF工法	プライマー 0.2～0.3kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.3kg/㎡	補強布	防水材(Aタイプ) 1.0kg/㎡	防水材(Aタイプ) 1.1kg/㎡	防水材(Aタイプ) 1.1kg/㎡	ブルーフロンアクア トップコートフラット 0.15kg/㎡	ブルーフロンアクア トップコートフラット 0.15kg/㎡
AQ-3H工法	プライマー 0.2～0.3kg/㎡	防水材(Aタイプ) 0.3kg/㎡	補強布	防水材(Aタイプ) 1.0kg/㎡	防水材(Aタイプ) 1.1kg/㎡	防水材(Aタイプ) 1.1kg/㎡	ポリエチレンシート (0.15～0.2㎜厚) ※別途必要	保護モルタルは 別途工事となります。

※トップコートはそれぞれ遮熱タイプを選択いただきますと「遮熱工法」となります。　※補強布の相互の重ね幅は50㎜以上としてください。

●AQ-3N工法(防滑仕上げ)

(ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-3仕様 適合)

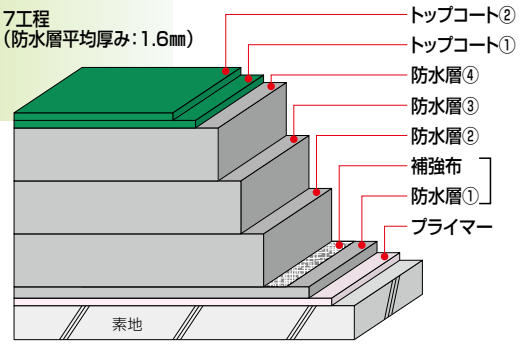
6工程
(防水層平均厚み:1.6㎜)



●AQ-3WF工法(平滑仕上げ)

(ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-3仕様 適合)

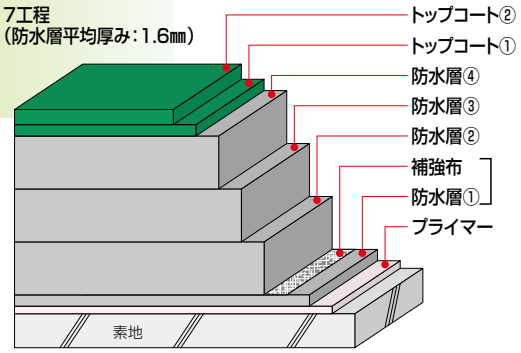
7工程
(防水層平均厚み:1.6㎜)



●AQ-3WN工法(防滑仕上げ)

(ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-3仕様 適合)

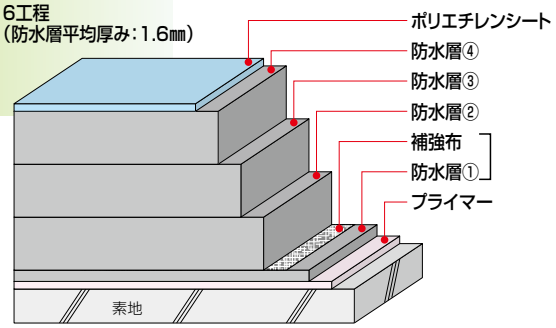
7工程
(防水層平均厚み:1.6㎜)



●AQ-3H工法(保護モルタル仕上げ)

(ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-3仕様 適合)

6工程
(防水層平均厚み:1.6㎜)



【Bタイプ】

■プライマー　左ページ上の表に従って下記のいずれかよりお選びください。

◉ブルーフロンアクア希釈プライマー(使用量：0.2～0.3kg/㎡)

ブルーフロンアクア混和液 ……12kg
ブルーフロンアクアパウダー ……8kg
水……2～4kg

◉ブルーフロンアクアプライマー(使用量：0.2kg/㎡)

ブルーフロンアクアプライマー……15kg

■防水材(Bタイプ)

◉ブルーフロンアクア(使用量は右の工法仕様をご参照ください)

ブルーフロンアクア混和液 ……12kg
ブルーフロンアクアパウダー ……16kg
水……0.8～2kg

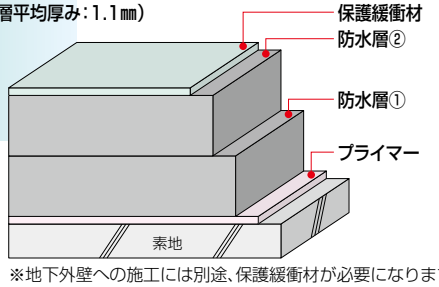
PB-1仕様

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹
AQ-B工法	プライマー 0.2～0.3kg/㎡	防水材 (Bタイプ) 1.3kg/㎡	防水材 (Bタイプ) 1.3kg/㎡	地下外壁への施工は 別途保護緩衝材が 必要となります。

※保護緩衝材とは「発泡ポリエチレン・発泡ポリスチレンなどの発泡プラスチック、コンクリートブロックなどのコンクリート2次製品、または厚手の繊維製品など」が該当します。

●AQ-B工法　(ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PB-1仕様 適合)

3工程(防水層平均厚み:1.1㎜)



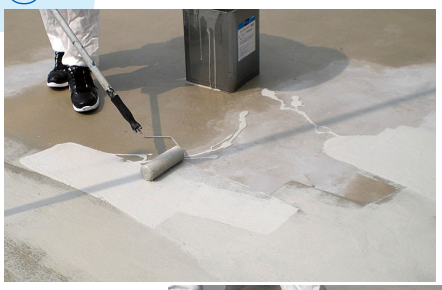
※地下外壁への施工には別途、保護緩衝材が必要になります。

■施工フロー

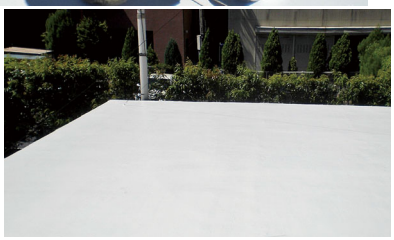
1 素地調整

2 プライマーの施工

3 プルーフロンアクアの施工



4 トップコートの施工



▲完成

製品構成

	製品名	概要(主成分)	荷姿
プライマー	プルーフロンアクア　プライマー	1液水性カチオンアクリル樹脂系	15kg(石油缶)
防水材　材料	プルーフロンアクア　パウダー	セメント入り特殊無機骨材	8kg
	プルーフロンアクア　混和液	エチレン酢酸ビニル樹脂系	12kg(石油缶)
補強布	プルーフロンアクア　クロス	ガラス繊維補強ビニロン系不織布	1.04m×100m
	プルーフロン　ソフトクロス	ポリエステル繊維織布	1.02m×50m
仕上げ塗料	プルーフロンアクア　トップコート　骨材入り	1液水性特殊変性アクリル樹脂系(けい砂入り)	18kg(石油缶)
	プルーフロンアクア　トップコート　フラット	1液水性特殊変性アクリル樹脂系	15kg(石油缶)
	プルーフロンアクア　トップコート遮熱　骨材入り	1液水性特殊変性アクリル樹脂系(けい砂入り)	18kg(石油缶)
	プルーフロンアクア　トップコート遮熱　フラット	1液水性特殊変性アクリル樹脂系	15kg(石油缶)

▲プルーフロンアクア　プライマー

▲プルーフロンアクア　パウダー

▲プルーフロンアクア　混和液

▲プルーフロンアクア　クロス

▲プルーフロンアクア
トップコート　骨材入り

▲プルーフロンアクア
トップコート　フラット

▲プルーフロンアクア
トップコート遮熱　骨材入り

▲プルーフロンアクア
トップコート遮熱　フラット

標準色

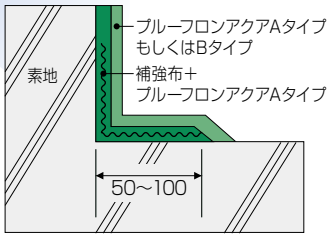
プルーフロンアクア　トップコートは以下の色相をご用意しております。

▲グレー ★　▲グリーン　▲シルバーグレー ★　▲ブラウン　▲オーカー

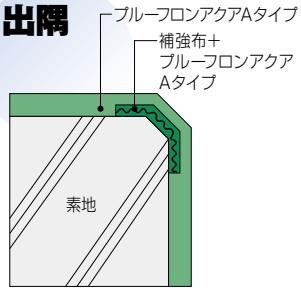
●遮熱タイプは★が付いたグレー、シルバーグレーのみとなります(遮熱色と標準色では、色相が若干異なります)。
●本標準色は印刷のため、実際の仕上がりと多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。

各部位の納まり

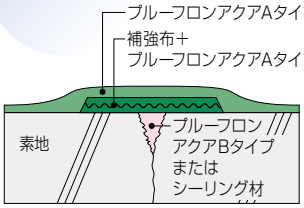
入隅



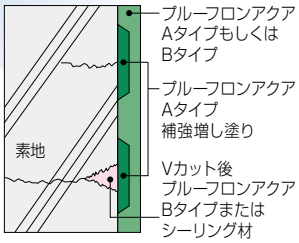
出隅



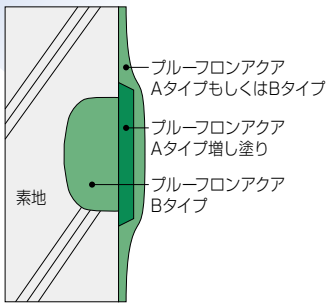
ひび割れ



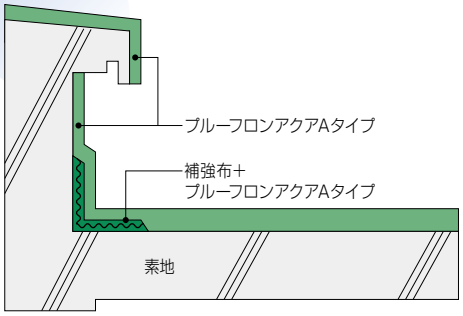
ひび割れ



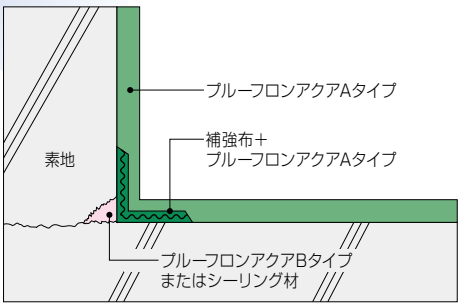
ジャンカ



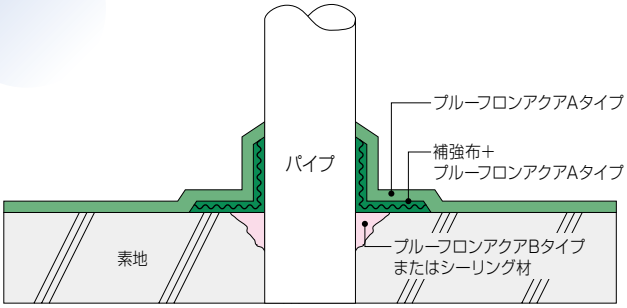
屋根・ベランダ



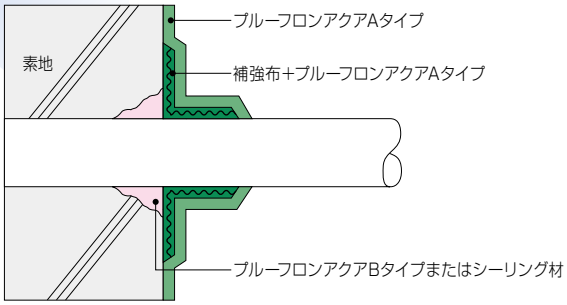
床・壁打継ぎ



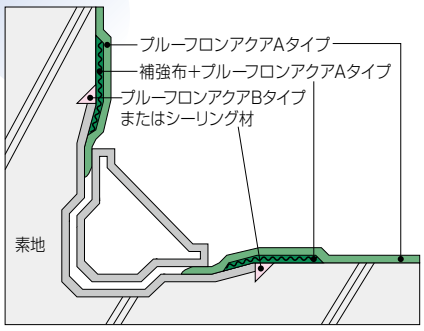
貫通パイプ回り



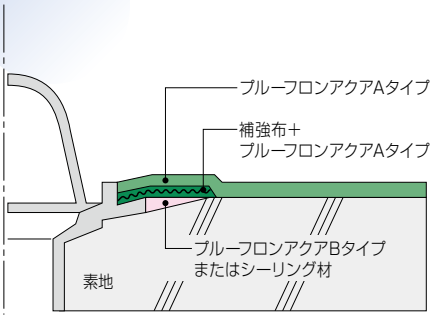
パイプ回り



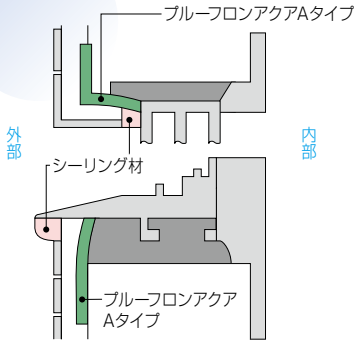
横引きドレン回り



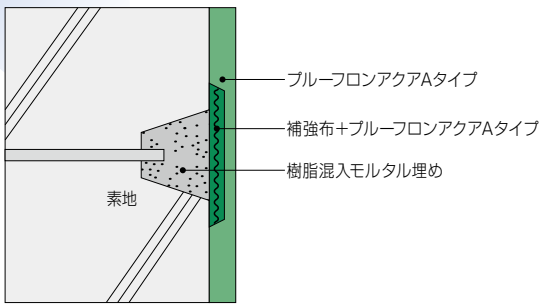
縦引きドレン回り



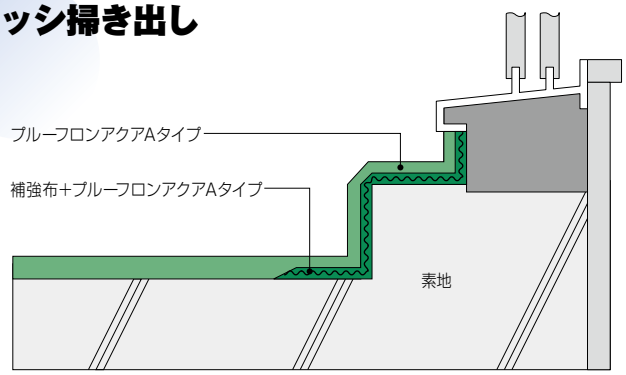
サッシ回り



木コン



サッシ掃き出し



塗膜物性（「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説」の品質試験に準じます）

項目		Aタイプ		Bタイプ	
		規格値	ブルーフロンアクア	規格値	ブルーフロンアクア
引張強さ（N/㎟）		0.6以上	2.4	1.0以上	1.8
破断時の伸び率（%）		100以上	173	30以上	114
ゼロスパンテンション伸び量（㎜）	標準	2.0以上	5.2	1.0以上	2.4
	加熱処理後	1.5以上	3.7	——	——
	アルカリ処理後	1.5以上	7.2	1.0以上	2.1
付着強さ（N/㎟）	標準	0.5以上	1.3	0.7以上	1.2
	湿潤下地	0.5以上	1.3	0.7以上	1.2
	加熱処理後	0.5以上	1.7	——	——
	アルカリ処理後	0.5以上	1.4	0.7以上	1.5
	浸水処理後	0.5以上	1.0	0.7以上	0.9
透水性（g）		0.5以下、かつ漏水がないこと	0.1（漏水を認めない）	0.5以下、かつ漏水がないこと	0.3（漏水を認めない）

■防水工事施工の注意点

①素地のレイタンスや脆弱な部分は除去し、泥、ゴミなどを取り除いたのち、清掃や水洗を充分に行なってください。
②型枠剥離剤はディスクサンダーやワイヤーブラシなどを用いて完全に除去してください。
③下地勾配は適切（1/20～1/50）にとり、水溜りができないようにしてください。
④気温が5℃以下、35℃以上、湿度85%以上の場合、また降雨や降雪、降霜、結露が予測されるときは施工を避けてください。
⑤材料の調合は混和液に規定量の水を入れ、パウダーを徐々に入れてダマがなくなるまで充分に撹拌してください。
⑥施工は調合割合を守り、仕様に準じて行なってください。下地の凹凸が激しい場合は、あらかじめ下地調整材で調整してから施工してください。一度の厚塗りは行なわないでください。
⑦施工後24時間程度（23℃）は降雨や降霜に当たらないように注意してください。また、充分に乾燥するまで歩行しないでください。
⑧室内で取り扱う場合や通気が悪い場所では換気装置で充分に換気してください。
⑨容器はつりあげないでください。止むを得ずつり上げるときには適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください（偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります）。
⑩防水工事の施工現場、足場内、資材置き場などは危険が伴うため、立ち入らないでください。
⑪ブルーフロンアクアは塗布後硬化、乾燥するまで養生が必要です。硬化・乾燥前のブルーフロンアクア防水層やトップコートに水をこぼしたり、物を置かないでください。
⑫施工に使用した器具は施工後直ちに水洗いをしてください。

■メンテナンスのお願い

①防水層に苔や草などを生やさないようにしてください。
②側溝、ドレン周辺に土砂などが蓄積しないよう、定期的に取り除いてください。
③防水層の端末や排水ドレン周辺は半年毎に点検を実施し、異常があった場合は最寄りの営業所までご相談ください。
④防水層の仕上げ塗料は定期的な塗り替えをお勧めします。
⑤防水層の点検や補修、仕上げ塗料の再塗装を行なう場合は専門業者にご依頼ください（有償）。

「ブルーフロンアクア」の取り扱い上の注意事項

（よく読んでご使用ください）

- 使用前や水希釈後は、充分に攪拌してからご使用ください。
- 取り扱いには必ずゴム手袋などの保護具を身に付けてください。
- パウダーは吸湿性があります。雨や雪、霜など水分の当たらない湿気の少ない乾燥した場所で保管してください。
- プライマー、混和液の保管は必ずフタをし、凍結を避け、直射日光や水分の当たらない室内で気温5℃から40℃で保管してください。
- 取り扱い後は手洗い、うがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるかぎり早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 子供の手が届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液、汚泥などは関係法規に基づき、自社で適切に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 環境対応製品は、環境に配慮した材料を用いていますが、ご採用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 詳細は警告ラベル、または安全データーシート（SDS）をご参照ください。

＊製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀞1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ https://www.nttoryo.co.jp/

■代理店

PAQC-0322C-S#5［2022年3月作成］定価200円（税抜き）